

なかいすみ学府だより

令和2年12月15日

第2号

発行：なかいすみ学府事務局（磐田中部小）

～第3回なかいすみ学府合同研修会～

10月21日、なかいすみ学府（磐田中部小、磐田西小、磐田第一中、磐田なかよしこども園）合同の研修会を行いました。（第2回研修会は、夏休み短縮のため中止）

今回は、磐田第一中学校の授業を参観したあと、小中一貫教育部会を磐田中部小学校の各教室を使って行いました。

«一中生の授業を参観した学府職員の感想を少し紹介します»

- ・中学生の様子が分かり参考になりました。義務教育の出口を知り、小学校の教育を考えるのは大切だと思います。小学校で身に付けさせたい力を考えることができました。
- ・自ら挨拶をする中学生の姿や授業中に落ち着いて学習する姿を見ることができ、一中生の良いところをたくさん見付けることができました。
- ・「こんにちは！」と、気持ちの良い挨拶がどの子からも見られ、良い環境で育っているのだなと感じました。



«磐田第一中学校の授業» どのクラスでも、一中生は授業に真剣に取り組んでいました。



«一貫教育部会» 今年度、初めて学府の職員で話合いができ、有意義な時間となりました。

8つの一貫教育部会（研修部、外国語教育部、総合・キャリア教育部、道徳部、特別活動部、生徒指導部、特別支援教育部、健康・体力部）では、なかいすみ学府の子供たちの資質・能力を高めるための具体的な実践について話し合いました。それぞれの部で、園・小・中の職員が互いに活発な意見交流を行い、11月以降に以下の2点に重きを置き、学府統一で教育活動に取り組んでいくことになりました。

- ①「おはよう」「ありがとう」等の挨拶が、子供たちから広がっていくように支援していきます。（家庭でも、お子さんの良い表われや当たり前にできている事を見付けて、「ありがとう」の言葉掛けをお願いします。）
- ②「Nスタイル」を取り入れた授業を行い、学びを深めていきます。Nスタイルの定義「自分の考えをもち、少人数で友達の考えを聞いて話し合うことを通して、考えを一層深め合うこと」（家庭でも、お子さんの声に耳を傾け、考え方を受け止めていただこうをお願いします。）

来年度以降も各部で、学府の子供たちの資質・能力を高めるための手立てについて考えていきます。